

附属機関等の名称 会議概要

- | | | |
|---|-----------|---|
| 1 | 審議会名 | 第14回交流学習センター施設検討委員会 |
| 2 | 日時 | 平成18年9月8日 午後6時30分～午後9時30分 |
| 3 | 会場 | 豊科公民館大会議室 |
| 4 | 出席者 | 益子委員長、草深副委員長、丸山委員、中島委員、細野委員、松尾委員、中田委員、山田委員、藤原委員、巻山委員、中嶋委員、細萱委員、小口委員、曾根原委員、三枝委員、松田委員、赤沼委員、細川委員（まちづくり推進課長）、松枝委員（社会教育課長） |
| 5 | 市側出席者 | 望月教育長、小林教育次長、曾根原文化振興係長、財津文化振興係主査、丸山豊科教育課生涯学習係長、原野穂高教育課生涯学習係長、那須野三郷教育課生涯学習係長、唐澤堀金教育課長、竹田明科教育課長補佐、小松健康福祉課長、小穴児童保育課児童係長 |
| 6 | 会議概要作成年月日 | 平成18年9月14日 |

1. 会議の概要

- ①交流学習センターに複合的に整備する多目的ホールについて
- ②堀金交流学習センターの整備について
- ③その他

2. 協議

・水産庁が森林の土壌に含まれている養分を海に流す研究を委託、4000万円が計上されたニュースがあった。海にとって森は大変重要。我々が今検討している事も市民にとっては大事な施設。

・今日は協議事項二つ。多目的ホールについて。堀金学習センターについて。読売新聞の記事。全国放課後の児童を預かることに決めた。午後5～7時まで学校で預かる。そうすると今までの児童クラブがどうなるのか、未定。三郷の児童館についてはまた何らかの形でご検討頂くことがあるかもしれない。未定。料金は割高だが都会では企業の学童保育が好評。松本辺りだと企業が託児をして成り立つかもしれない（個人的に）思った。

・仙台メディアテークの設計の考え方を紹介することによって、交流というものを理解して頂けたらと思う。
・駅から直接階段を通じて入れるようにしてある。図書館からホールまで全てが繋がっていて家具が統一されている。図書は少ないがワークスペース（机と椅子）がある。市民が運営を核になってやっている。市民自ら関わって運営できるものがあっていい。一度見に行くといいかなと思って紹介申し上げた。

・資料を提出されなかった方でもご提案がある方はどうぞ。交流の行われ方を、明科町のひまわりの具体的な説明を頂いた。お勤めが終わってから入れる施設があってもいいとご提言頂いた点も含め、ご意見を頂きたい。ホールについての合意事項。穂高は、図書館に付随した学習機能という性質を持ったホール。名前は決めていないが、学習室など多目的に使える部屋で余裕を持たせたもの。豊科は、美術館に付加された学習機能を持った、多目的な部屋。三郷は、児童館がメインでどちらに作っていくか。地域の為のホールなのか、施設の為のホールなのか。きちんと分けて論じ始めたい。その辺のところはいかがでしょうか。

・前回、最後のところで、名前はどうかであれホールの機能が欲しいと述べて決議された。これを最初に確認して頂きたい。

・大きな方向付けとしてはこうとお示しいただいた。

・地域に必要なか、施設に必要なか、両方に関わる場合もある。ただ必要、欲しいと言っているのではなく、一同に集まって共有できる交流の場所が必要。規模は後として、ホールは、機能は必要と考えている。

・地域にとっての大きな行事の為の施設（ホール）ではなく、その施設にとって必要な機能の部屋（ホール）

でいいのではないかと思う。その辺をくんで頂いてご意見頂きたい。穂高では専門家の出した規模が 200 人収容人数。中央図書館にふさわしいホールとは一体どの位か、実は前々回まとめて頂きました資料で示されているのは、豊科 200 人、穂高も同じ位、三郷もだいたい同じ程度か。堀金はサブアリーナがあるので考慮して頂いて、明科は可動式と補助席併せて最大で 120 人位。ご意見を頂きたい。皆さんのご議論をまとめさせて頂く上で、豊科と穂高についてはこの方向でよいか？

・三郷の経緯と考え方を説明。多目的ホールについては 10 年以上も前から文化施設に恵まれない三郷地域に是非との強い願いがある。その間 3 回程専門家を交えた委員会を立ち上げ、プロポーザルも済んでいた。村議会にも請願書が提出され採択された。過日、市議会でも採択を頂いている。前回、プレイルームを充実したらどうかというご意見があったが、目的が全く異なるのでちょっと不可能かと思う。また、市の中心に立派なホールが出来ても、地域としては利用できない。地域の平等な発展の為に、適切な規模のホールを是非お願いしたい。

・児童館のプレイルーム、図書館のホールと、両方必要という事でよいか？

・図書館のホールという事ではなく、三郷の場合は児童館と図書館とホールを複合施設としたい。ホールは多目的に使えるという事でたまたま中を平らにすれば児童館の子供達が来て軽量のスポーツもできると。児童館付属でもなく図書館付属でもなく、多目的にホールを使いたいということ。

・施設の為のホールであるべき。地域の為のホールでしたら公民館もあるし、どこかに 1 つ大きなホールを造る時に出てくる問題だと思う。先日、旧町村の福祉課を回ったが走行距離が 100 km だった。必ず何処かが遠くなる。どこに建てる、のでは話が進まないと思う。施設のために建てるべきだと思う理由は、性質が分かれてきたのでその為のホールと考えていかないとまた無駄なホールができる。地域の集会用には公民館で十分と思う。

・複合施設ですから。独立している訳ではない。

・施設の為のホールというご意見が出た。

・どうしても地域エゴ的な考え方が払拭されていない。非常に残念。施設の目的のためにホールや部屋を作るなら意味もあるが、地域の為の施設は現在あるもので何とかやっていけるのではないか。また、この話を進める時は、市民ホールをどうするかという話と一緒に進めて欲しい。市民ホールが出来れば見こみがなければ各地域にあってもいい。市のホールがあればそこで全てできる位のものがいい。地域で何かではなく、全市で何かしましょうよ。それが私の考え方。

・地域のための施設というものをどういう風に解釈するかわからなかったが、今の展開されている議論だと、穂高なら穂高の為だけに、というのは地域で、安曇野市全体としての地域としての発想もあるわけで、地域の言葉の使い方が厳密でない。その話し合いは進んでいる。全市的ホールは先の話。穂高の中で松本の音文ホールのような施設が欲しいと意見もあったが、こういうものは今度の中では考えない。穂高のホールを 200 名にしたのもその為。まさに施設の為のホールとして出ている。今展開されている議論で言えば、豊科というのが小さい地域のためのホールという感じ。それは今は問題にならないのではないか。あくまでも全体、施設としての必要性の機能という問題で考えればいいのではないか。この前もこの発言をした訳だが。いやにまたさらに。こういう論議は今まで無かったような気がする。また出てきている。必要ない論議だと思う。

・これははっきりさせないと思ったので。規模につきまして安曇野市という視点でとらえて頂きたい。

・地域に固まるべきでないというご意見、もっともだと思う。検討委員会を立ち上げた等、経緯はあるが、新たに全市的な気持ちでやっている。美術館を充実させていくことは、豊科だけでなく全市的に良い事だ。その中で、ホール、集える場所が欲しいと聞いている事を申し上げておく。

・本日ははっきり議決をとりたい為、指名するというのは始めてだが、全ての委員さんの意見を聞いて議決をとっていききたいと思う。

・地域の人々がただ集まるホールとは機能が違うと思う。多目的とは図書館の機能を充実させるためのもの。施設を利用する人にとって有用なホールと考えていったほうがいいと思う。

・機能を生かせるようなホールであって欲しいという事でよろしいか。

・基本的には補完する機能という事で賛成だが、実際に利用する中身はわからない。で、交流という事は人

と人の双方向がないと交流とはいえないと思う。コンサートを開いた場合、交流になるのかという疑問があります。そこを明確にしていなければならないと思う。

- ・各施設の具体的な像が見えないという意見だが、事務局の方からの、ひまわりの交流のキーワード7ページの下を読んでいただければ有難い。

- ・200席のホールが年間どの位使われるのか。どの位の席を作れば一番稼動しやすい施設になるかが重要だと思う。三郷の400席は中途半端だ。例えば中学は600人、敬老会も多い。ならば文化体育館でゴザを敷いて入れた方がいい。地域差については、今は車があるのでそれ程ひどくはないと思う。

- ・有効に利用できる席数、規模がいいというご意見。

- ・市の端の明科に住んでいるが、市民ホールができたなら、そこに行けばいいと思っている。穂高と豊科について、具体的にどんな風にかイメージできない。それをあげてもらえれば考えやすい。ホールで何をしたいのかわからない。

- ・具体例、事務局の方で提案頂いたギャラリー風の部屋、展覧会、育成できる部屋とか、そういう所で美術館にふさわしい交流をするとか。穂高の場合は学習施設、歴史を知って頂く、交流できる施設。

- ・美術館の場合ですが、現在、喫茶室があるが100㎡弱で使っている。オープニングセレモニーや学習会等（結婚式もここでやって好評を得た）、活動・運営の面でギャラリー、展示。活動資料をお配りしたが、講師を招いての講演会、映画アニメ祭り等。この部分ができる範囲の場が是非欲しいとの各館長さんのお話だった。

- ・今迄、旧町村からの要望だけをただお聞きしているような気がする。この委員会としてもこのホールをこう使っていこうという提案が出てもいいのではないかと。

- ・基本的には今迄の活動を参考にこれからを考えていくしかないのご説明申し上げた。

- ・安曇野市全体の視点として見つめ直そうという事で、具体的に交通機関についても考えて頂きたい。

- ・中央図書館だが、ホールの規模に迷ってきた。図書館の協議会等の集まりはあるのか逆に事務局にお尋ねしたい。安曇野の誇るべき展示するモノは多い。その展示のやり方は難しいので専門家に任せる。200人規模が一番いいと専門家が判断した。柏原は200人収容、186坪。3パーテーションに仕切られ使いやすいと好評。狭いかもしれないが多目的に使うことでクリアできるのではないかと。

- ・200名の規模の妥当性について。難しい。長野県図書館大会が来年安曇野市で開催され、穂高会館（公民館）を使う。600人。どうしても図書館・学習館に付随してあってやるもの事を考えると大きくなくてよろしいかと思う。200席というのは妥当と私共も思っている。明科は100席以上少ない。100～150～200席位その辺りがいわゆる使い勝手が良い部分ではないかと思う。

- ・それぞれの施設にふさわしい形の中で話を進めるのが良いと思う。

- ・それぞれの施設をより生かす意味でのホール。ホールの椅子の数が問題になっているが、概ねを決めて、大枠の合意ができれば、細かいことは専門家に任せる方がいいのではないかと。

- ・三郷ですが、児童館は児童クラブとは別だと思う。児童館はなくてはならない。プレイルームは狭い。多機能・多目的に使えるホールを希望します。中学生が交流会、生涯学習の拠点が良いという意見がある。

- ・児童館は作るということで変わりありませんので。

- ・児童館は必要なんです。ただ、児童クラブの部屋がどういう風に考えるかという事です。児童館は、学校が預かったからといって必要ない訳ではない。児童館独自でやれることがたくさんあるのでそのようにご承知置き頂きたい。

- ・小学校に付随するので、学校内を使い、市内に10箇所できる訳です。

- ・ホールは、地域ではなく機能にとって必要と考えられると、三郷の場合はプレイルームが一番大事。もうひとつ、生涯学習の為は地域性のもの。機能の為のものに絞って頂いた方が今の流れとしてはよいと思う。特にもう一つのホール、経験から申し上げると多機能にしようと思っても、子供が使うとなると限界がある。暗い。子供は陽の当たる部屋で遊ばせたい。また、音響の壁でボール遊びさせることはできない。音楽・公演ができるホールは他に使えない。

- ・三郷については整理していかないといけないと思います。

・放課後の学校託児が本当に来年から始まるのか心配。実は、穂高北小で、お母さん達の声で放課後の託児を提案したが、教室数が足りないから無理だと言われた。児童クラブの事も少し考えてあげたほうがいいんじゃないかと思いますがいかがでしょうか。

・私共も中身が見えない。ご承知置き頂くという事でお知らせした。

・なかなかご理解を頂けないようだが、要は地域文化を向上させたいという願がある。仮に中央にできたとしても、誰もが車を持っている訳ではない。地域だけでこじんまりではあるが内容の濃い生涯学習を展開したいと思う。既存施設を使えばいいという意見があるが、少しでも質の高い内容で活動したいという願がある。それが地域エゴだと言われれば労がありません。

・美術館の設計について例を説明。壁をとりはらう。干渉ができるような設計にして欲しい。

・施設の為のホールでよいかと思う。

・合併した上でそれぞれの施設をどうしようと考えているので、各地域毎に大きなものを作るのではなく全市として作っていききたい。施設にきちんとした市としての機能を持たせ、その効果を出す為のホールはどんなものかについて議論頂きたい。

・同感です。交流の場は実は求めればどこにでもあるというのが私の持論。豊科は700人入るホールがあるが、不経済。これからは地域が自立することが行政の考え方と考える。穂高会館が500人、堀金サブアリーナが500人、これらの頻度を高め稼働のことを考えないといけない。ホールについてはやがて有料になり冷暖房費を考えると気軽には使えないし、維持費もかかる。三郷さんは貞享記念館を生涯学習の機能を担わせ有効活用して頂ければ有難い。ただ三郷の人口規模からいくと明科と同じでは集まった時狭いかなど。使用頻度を熟考した中で、多目的という中で用意されるといいのではないかな。

・皆様からご意見を頂きました。合意概要のまとめを再確認。そういう形でよろしいか？

・一点だけ。豊科は美術館がメインだが、図書館ができるという中で、多目的に使えるという誘導性をもたせた中で考えて頂きたい。200席は妥当と思う。

・堀金はサブアリーナがあるのでそちらを使って頂きたいと思う。概ねの収容人数がおおよそ200人で、よろしいか。

【委員、全員挙手】

ありがとうございます。

【休憩5分】

・先程は挙手頂き、方向付けをして頂きましてありがとうございました。堀金については、事務局からご説明を。

・堀金の交流学習センターについては新築する計画は受けておりません。堀金の交流学習センターについて経過・事務局案を説明。資料の説明（堀金村役場平面図）新市庁舎が必要だとなると、空いてくる建物がある、どうやって活用していったらいいか。きちんとした設備であれば、地域の皆さんが一番使いたい用途を選んでくれればいい。堀金はそこに図書館をといる事だが、図書館は1階にあるべきだと思う。34000冊が入ると思われる。

・この庁舎の図面がどうしてあるのと思った。建設にあたって、公民館・図書館としても使えるようにと思い、議場はフラットにしてある。まだ内容の検討はされていない。堀金に来年新しい保育園が出来ますが、旧保育園に児童館はそこに行けばいいという意見もある。また図書館も一緒にできるのではとも言われている。立地場所が良い。

・堀金はそういう事と認識しております。以上です。

・これは難しい話で、確実に空くとは限らない。旧役場も空き施設利用も、堀金の将来空く施設を使うという事で大きく括っていただければ。いかがか。

・堀金図書館には臼井・山田の寄贈の本が贈られていて写真が飾ってある。あくまでひとつの視点からだが、図書館は臼井吉見記念館に近い旧村役場建物の方がいいと思う。

・堀金の図書館利用者としては、旧役場がいい。保育園は平屋だし、建物的にちゃんとしたものに思えない。児童館と図書館が一緒だと一般人はうるさくて使えない。

・10月迄にまとまるのかどうか心配。

・検討委員会としては、ここと決めるのではなく、空くであろう施設とまとめて頂ければ、私共としても後々楽であるということ。

・それぞれの施設の様子を見ながら決定していくという事で、事務局の提案でよろしいでしょうか。よろしければ挙手をお願いします。

【委員全員、挙手】

・合意を頂きました。内容について確認させて頂く。豊科については美術館に図書館分館を併設しその機能を十分に補完できるようなギャラリー色々な立体的な鑑賞に耐えうるようなホールを作って頂く、穂高については中央図書館として図書館を基幹にした地域の学習館にふさわしいホール、三郷については児童館・図書館、それにふさわしいホール、堀金については現在の既存施設を利用、規模についても概ね200席程度という事でございます。只今説明した内容で質問ございますか。よろしければ挙手をお願いします。

【委員全員、挙手】

ありがとうございました。次回の予定ですが9月25日。では、中間答申に向けてまとめさせていただきます。